

AYA世代がん患者支援体制構築事業（モデル事業）  
実施期間：令和元年～2年度

委託者：聖路加国際病院、都立多摩総合医療センター・小児総合医療センター  
内 容：医療連携体制の検証、AYA世代への相談支援事例の集積 など

## 検証結果を踏まえた取組

### 医療連携

#### 【検証結果】

- 多職種・多診療科のカンファレンス実施により、治療のほか、AYA世代に対する必要な配慮等の共有が可能となり、質の高い医療・支援につながる。  
(例) ⇨ 学校での人間関係や会社の上司への相談等  
⇨ 家族・子供に対してどのように説明すればよいか、医師から説明してほしい等  
⇨ 体力・運動面について、退院後の生活も見据えた個々別のリハビリ計画等
- カンファレンスの開催が、各診療科のAYA世代への関心を高め、積極的な勉強会などの自発的な取組を生む好循環につながった。
- 連携担当看護師等が、カンファレンスの実施等を一括して行うことで円滑な連携や患者支援につながる。

#### 【令和3年度の取組】

- ✓ **AYA世代がん診療連携部会の設置** (東京都小児・AYA世代がん診療連携推進事業で対応)
  - ⇨ 小児がん及びAYA世代がん患者を診療する病院間での連携促進
    - ・ネットワーク参加病院間の情報交換
    - ・医療連携の好事例の共有

### 相談支援

#### 【検証結果】

- 相談対応は多種多様であったが、心理支援のほか、生殖機能温存・アピアランスケア・就労継続などの世代特有の問題への相談が多数
- 患者数の少ないAYA世代がん患者からの相談支援事例を集積することで、過去の事例を参考にした相談支援が可能
- AYA世代の相談窓口を明確化することで、より相談がしやすい。
- 世代限定の患者同士の交流の場は、AYA世代のがん患者が抱える特有の悩みなどを共有・解消につながり、患者の満足度が高い。

【令和元年度相談実績】

相談内容	相談件数	割合
心理支援	134	19.9%
がん生殖医療	59	8.7%
新規就労	5	0.7%
就労継続（復職）、再就職	145	21.5%
経済的問題への対処	90	13.3%
家族支援	50	7.4%
栄養・食事・運動	50	7.4%
アピアランスケア	86	12.7%
その他の相談事例	56	8.3%
	675	

#### 【令和3年度の取組】

- ✓ **AYA世代相談支援センターの設置** (令和3年度～5年度で実施・効果検証)
  - ⇨ 相談支援の事例・ノウハウ等を集約し、相談支援の質の向上を目指す
    - ・区部・多摩に1か所（既存の相談支援センターは、対面での相談が約50%）
    - ・患者、他の拠点病院等からの相談に対応
    - ・患者サロン等を実施し、患者同士の交流の機会を確保

